

今週は、主が私達の罪の為に苦しみを受けられた受難週です。約2千年前の今週の金曜日、午前9時～午後3時まで、主は十字架に付けられ、私達の罪を負い、想像を絶する苦しみを受け、私達の罪を完全に贖い、償い、息を引き取られました。この1週間、主を深く思い、心から主に感謝しましょう。

I 先行する主の愛、恵み。「今私が肉において生きているいのちは、私を愛し、私のためにご自分を与えてくださった、神の御子に対する信仰によるのです」ガラテヤ2：20

II 主が十字架で背負われた私達人間の罪

1. 『殺してはならない。人を殺す者はさばきを受けなければならない』と言われたのを、あなたがたは聞いています。しかし、わたしはあなたがたに言います。「兄弟に対して怒る者は、だれでもさばきを受けなければなりません。兄弟に『ばか者』と言う者は最高法院でさばかれます。『愚か者』と言う者は燃えるゲヘナ（地獄）に投げ込まれます」マタイ5：22。実際に、人を殺さなくても、人への怒り、憎しみ、恨み、人をばかにする言葉、高ぶりの言葉、態度も、「人殺しの罪」と主は教えられた。旧約の十戒の「殺してはならない」の深い意味を主は教えられた。この聖なる神の戒めの基準に合格する人は一人もいない。「自分は罪人ではない」と言う人がいれば、その人は、真理を少しも理解していない人。※主に出会う前の私の証し。主は、私達の心の中の殺人、言葉で人を傷つける殺人の罪をも背負って、十字架で私達の身代わりに刑罰を受けられた。主よ、感謝します。主を信じると、新しい心が与えられ、殺人、憎しみ、恨み、ねたみ、人を見下げる傷つける言葉の代わりに、愛、赦し、命を守る心、感謝の心が与えられる。

2. 『姦淫してはならない』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。しかし、わたしはあなたがたに言います。情欲を抱いて女を見る者はだれでも、心の中ですでに姦淫を犯したのです」マタイ5：27, 28。実際に肉体関係の姦淫、不貞、浮気をしていなくても、不品行な欲を抱いて、女を、異性を見る者は、心の中で、すでに姦淫を犯したのですと主は、十戒の本当の深い意味を説き明かされた。男性は、不品行な映像に弱い。パソコン、携帯電話で、簡単に不品行な映像、有害サイトを見ることが出来る時代になった。※私は、妻や信仰の友に祈ってもらい、これらの罪に気を付けています。説教者が、隠れた罪を犯したままなら、教会で最も大切な説教に御聖霊の力が働かなくなる。教会の信徒の方も、説教から命ある霊的な栄養をもらえなくなる。教会が弱くなる。礼拝の説教に霊的な力が増すと、教会に霊的な命が吹き込まれ、教会が成長する。私が、誘惑から守られ、聖さにおいても主の姿に似るようにお祈り下さい。「ほかの人に宣べ伝えておきながら、自分自身が失格者にならないようにするためです」Iコリント9：27。ある教職者は、この御言葉を、男性の弱さだけではなく、男女ともに、「今の妻、夫ではなく、あの人と結婚できたら」と思う事も罪と示していると説き明かされた。※神が摂理の内に与えられた伴侶を愛する事こそ、誘惑への防御であり、神

の喜ばれる事である。主は、私達の不品行な罪も背負って、十字架で死んで下さった。感謝します。主を信じる時、新しい心が与えられ、不品行の代わりに、聖さを愛する心を下さる。

3. 「彼らは、あらゆる不義、悪、貪欲、悪意に満ち、ねたみ、殺意、争い、欺き、悪巧みにまみれています。また、彼らは陰口を言い、人を中傷し、神を憎み、人を侮り、高ぶり、大言壮語し、悪事を企み、親に逆らい、浅はかで、不誠実で、情け知らずで、無慈悲です」ローマ1：29-31。主は、私達のこれら一つ一つの罪を背負い、身代わりに、十字架で、刑罰を受け、私達の罪をすべて償って下さったのです。主を信じると新しい心が与えられ、陰口の代わりに、人の好い所をほめる者へ、人を中傷する代わりに、人を励ます者へ、神を憎む代わりに、神から溢れる恵みが分かり、神を愛し神が良くして下さった恵みを感謝する者へ、人を侮る代わりに、人を尊敬するものへ、高ぶる代わりに、神と人の前に謙遜な者へ、大言壮語ではなく、口を慎む者へ、悪事を企まず、良い事を計画する者へ、親に逆らう者から親を敬う者へ（健全な自立の過程で、親に反抗する時期もある）、浅はかではなく、祈りつつ思慮分別を持つ者へ、不誠実ではなく、神と人に誠実な者へ、情け知らずではなく、神から愛をいただいて情け深い者へ、無慈悲ではなく慈悲深い者へ、主は、変え続けて下さる！人と比べないで、主を信じていない自分と比べ、変えられている恵みを感謝する。

Ⅲ 主が、私達の救いのために十字架で死なれた事実、愛を示す御言葉

1. 「私たちがまだ罪人（神を恐れない罪人）であった時、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます」

ローマ5：8

2. 「キリストは、今の悪の時代から私たちを救い出すために、私たちの罪のためにご自分を与えてくださいました」ガラテヤ1：4

3. 「キリストは、私たちをすべての不法から贖い出し、良いわざに熱心な選びの民をご自分のものとしてきよめるため、私たちのためにご自分を献げられたのです」

テトス2：14

4. 「イエスは再び大声で叫んで霊を渡された。すると見よ、神殿の幕が上から下まで真っ二つに裂けた」マタイ27：50, 51。聖所と至聖所（至聖所には大祭司が年に一回だけ、贖罪の日に入ることが出来た）を仕切る幕が裂けた。これは、偉大な神と罪のある私たちとを隔てる幕が裂けたことを意味する。つまり、偉大な神に、罪ある私達が、悔い改めや感謝や願い事の為に祈り近づく新しい道が開かれた恵みを示す→

「私たちはイエスの血（十字架で流された血）によって大胆に聖所（神の臨在される所、偉大な神との親しい交わりの恵み）に入ることができます。イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのために、この新しい生ける道を開いてくださいました」ヘブル10：19, 20。感謝します！イエス様の十字架の恵みの故に、新しい生ける道、救いの道が開かれたことを心から感謝します。